

1-5 姉妹都市

1、アバロン市（フランス：昭和51年7月14日提携調印）

・提携経過

昭和48年10月にスイスにおいて開催されたヨーロッパ禅大会に出席した貞祥寺（市内前山）住職に、佐久市長がフランスに佐久市と見合う市があったら紹介していただきたい旨依頼したところ、ヨーロッパ禅協会の会長であり、ヨーロッパで禅を布教している弟子丸氏より佐久市と自然環境などがよく似ているアバロン市が紹介された。

昭和49年5月にはヨーロッパ禅協会員が貞祥寺に修業に来た際、アバロン市長のメッセージを佐久市長に持参するなど、両市の間で姉妹都市提携について話が進み、昭和51年7月14日提携調印がなされた。

その後、昭和53年7月には佐久市姉妹都市親善協会が設立された。5年ごとに姉妹都市親善訪問団との市民交流が深められ、平成18年10月には30周年を記念した訪問が行われた。

・アバロン市の概要

パリから南東へ鉄道で約220km。人口が約8,200人（2004年）。古くはブルゴーニュ地方の軍事中心地であり、十字軍の基地であった。ブドウ酒製造などが盛んな地域で森と湖が多く、城壁と15～18世紀の古いまち並みなどが残る中世の香り漂う田園都市である。

友好都市

1、由利本荘市（秋田県：昭和63年7月11日旧矢島町と提携調印、平成17年3月22日旧矢島町より承継）

・提携経過

昭和53年5月、市内の郷土史研究者らが、佐久の豪族根々井、大井両氏に関係する史料調査に旧矢島町を訪問した。

これを契機に旧矢島町より提携についての申し入れがあり、さらに旧矢島町との提携締結について、市内の郷土史研究会ほかの皆さんから佐久市に請願書が提出された。その後、民間団体を含めた市民レベルでの交流を経て、昭和63年7月11日提携調印がなされた。佐久市での産業フェア、旧矢島町での産業文化祭など諸行事を通じて交流が続けられた。平成17年3月22日旧矢島町を含む1市7町の合併により、由利本荘市が誕生。これに伴い提携を引き継ぐこととなる。

・由利本荘市の概要

平成17年3月22日、1市7町の新設合併により市制施行、人口約89,900人（平成18年5月31日現在）、面積は1,209km²と秋田県一の面積を誇る。

由利本荘市は、秋田県の南西部に位置し、秋田市から20km～60kmの圏内にある。秀峰鳥海山と出羽丘陵に接する山間地帯、子吉川流域地帯、日本海に面した海岸平野地帯の三地帯から構成されている。

比較的温暖な地域だが、海岸部と山間部では気候条件が異なり、特に冬季においては積雪量に差が見られる。

2、静岡市（静岡県：平成元年10月12日旧清水市と提携調印、平成15年4月1日旧清水市より承継）

・提携経過

昭和44年、佐久市の公民館移動青年学級が旧清水市で開かれ、双方の青年学級生との交流が開始された。これを契機に、翌昭和45年に旧清水市から大勢の青年が佐久市を訪れ、広大な自然の中で交歓キャンプを開催、以後交流の輪は青年から児童・生徒に引き継がれている。

その後、両市の関係は観光・物産展などの経済、また、スポーツ、文化面へと広がり交流20年を経過した平成元年には旧清水市との友好都市提携締結がなされた。平成15年4月1日、旧清水市と旧静岡市との合併により新静岡市が誕生。これに伴い提携を引き継ぐこととなる。早期建設を目指す静岡市を起点に佐久市に至る中部横断自動車道により、さらに近い距離で結ばれようとしている。

・静岡市の概要

平成15年4月1日、旧清水市と旧静岡市の新設合併により市制施行、人口約721,600人（平成18年5月31日現在）、面積1,374km²。

静岡県の中核市である静岡市は、平成17年4月1日に国内14番目の政令指定都市に移行した。古来より駿河の中心として栄えた土地で、中世には今川氏の本拠、江戸時代には隠居した徳川家康による大御所政治の舞台となった。現在首都圏と中京圏との中間に位置するとともに、早期建設を目指す中部横断自動車道により太平洋側から日本海側に向かう交通の要衝として、東海地方における中枢拠点都市となり、国際貿易の拠点である特定重要港湾清水港も擁する。また、政令指定都市で日本一広い面積を持つ市で、日本平や三保の松原などの景勝地も有名である。

3、神津島村（東京都：平成6年3月24日提携調印）

・提携経過

神津島村との交流は、神津姓の取り持つ縁により昭和52年から開始されている。昭和53年に神津島村青年団が来市、翌昭和54年には神津島村が「佐久鯉祭り」に参加して以来、神津島村から産業フェア、また佐久市からは、商工産業まつりに参加するなど、双方の諸行事を通じ交流が続いている。

佐久市においては市民の待望であった上信越自動車道佐久インターチェンジの開通、また神津島村での神津島空港開港など両市村の記念すべき節目として、平成6年3月24日提携調印がなされた。

・神津島村の概要

大正12年10月1日に村制が施行され、人口2,100人（平成18年6月1日現在）、面積約19km²。

神津島は、富士箱根伊豆国立公園に属する伊豆七島のほぼ中間、また、東京竹芝から南へ

約 170.4 kmの地点に位置する。黒潮による海洋性気候のため、通年緑に囲まれた南国情緒豊かな島である。さらに四季折々に咲く美しい花や植物とともに、見渡す景観の素晴らしさは、新東京百景の一つに選定されている。島名は神に由来するものといわれ、今は、磯釣りのメッカとしても有名であり、観光と漁業が盛んである。

4、銀河連邦共和国

・提携経過

相模原市の提唱により、昭和 62 年 11 月 8 日、文部科学省宇宙科学研究所の研究及び観測施設のある 2 市 3 町（現在は 4 市 1 町）で銀河連邦共和国を建国。ユーモアとパロディにより、連邦国家を組織し、共和国相互の理解と親善を深めることにより、宇宙平和の一翼を担うとともに、人々の笑顔にあふれたユートピアの創造をめざし、首脳サミット、銀河フォーラム、子ども留学交流、物産販売等経済交流により友好を深めている。（佐久市所在の施設名：臼田宇宙空間観測所）

① 相模原市（神奈川県）

人口約 669,100 人（平成 18 年 6 月 1 日現在）、面積 244.03 km²。

・所在施設名 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部相模原キャンパス

② 能代市（秋田県）

人口約 63,900 人（平成 18 年 5 月 31 日現在）、面積 426.74 km²。

・所在施設名 能代多目的実験場

③ 大船渡市（岩手県：平成 13 年 11 月 15 日旧三陸町より承継）

人口約 43,200 人（平成 18 年 5 月 31 日現在）、面積 323.25 km²。

・所在施設名 三陸大気球観測所

④ 肝付町（鹿児島県：平成 17 年 7 月 1 日旧内之浦町より承継）

人口約 18,900 人（平成 18 年 6 月 1 日現在）、面積 308.12 km²。

・所在施設名 内之浦宇宙空間観測所

ゆかりのまち

1、岡崎市（愛知県：昭和 58 年 7 月 1 日「ゆかりのまち」提携調印）

・提携経過

江戸幕府末期の龍岡藩藩主で、岡崎市が生誕の地である松平乗謨公に係る歴史的由緒により、昭和 57 年 4 月旧臼田町関係者が岡崎市の「家康祭り」に招待されたことに始まる。双方の各種イベントに参加したり、りんごの樹オーナー等交流を行なっている。

・岡崎市の概要

大正 5 年 7 月 1 日市制施行。平成 15 年 4 月には中核市に移行し、平成 18 年 4 月 1 日に、隣接する額田町と合併。人口約 368,600 人（平成 18 年 6 月 1 日現在）、面積 387.12 km²。

岡崎市は愛知県の中央部に位置する。徳川家康公が生誕し、後の江戸幕府の礎を築いた三河武士発祥の地「岡崎」は、古より栄え、13 世紀には日本の東西文化の要衝であり、三河の政治の中枢でもあった。

現在、名古屋大都市圏の東部圏域を形成する西三河の中心都市として重要な役割を担っており、地形的には、三河高原に連なる丘陵地、矢作川と乙川流域に広がる平野部からなっており、美しい自然と環境に恵まれた街である。

2、函館市（北海道：平成 10 年 10 月 16 日「五稜郭ゆかりのまち」提携調印）

・提携経過

龍岡城五稜郭とともに日本に 2 つしかない星型をした貴重な洋式築城跡を有している。昭和 50 年代から龍岡城五稜郭保存会等の民間レベルでの交流がはじまり、平成 9 年 7 月に函館市で第 1 回世界星型城郭サミットが開催された。この席上で旧臼田町から函館市に呼びかけ、新しい交流に発展させることを確認し、翌年協定を結んだ。

・函館市の概要

大正 11 年 8 月 1 日市制施行。人口約 294,700 人（平成 18 年 5 月 1 日現在）、面積 677.79 km²。

函館市は渡島半島の南東部に位置し、東・南・北の三方を太平洋・津軽海峡に囲まれている。室町時代の享徳 3 年(1454 年)、津軽の豪族 河野政通が宇須岸(ウスケシ：アイヌ語で湾の端の意)と呼ばれていた漁村に館を築き、この館が箱に似ているところから「箱館」と呼ばれることになる。明治 2 年(1869 年)、蝦夷が北海道となり、箱館も函館と改められた。

3、甲賀市（滋賀県：平成 2 年 12 月 6 日旧甲南町と「友好親善都市盟約」提携調印、平成 16 年 10 月 1 日旧甲南町より承継）

・提携経過

旧甲南町は甲賀忍者の里として知られている。望月の武将望月三郎兼家が旧甲南町に移り住み、その子孫が忍者になったといわれており、それが縁で交流が始まる。

・甲賀市の概要

平成 16 年 10 月 1 日、5 町の新設合併により市制施行。人口約 95,700 人（平成 18 年 5 月 31 日現在）、面積 481.69 km²。

甲賀市は、滋賀県東南部に位置し、大阪・名古屋から 100km 圏内にあり、近畿圏と中部圏をつなぐ広域交通拠点に位置している。その東南部は、標高 1,000m を超える山々が連なる鈴鹿山脈により、西南部は信楽盆地とこれらに続く丘陵性山地により各々三重県、京都府に接している。特に、鈴鹿山系を望む丘陵地で、野洲川・杣川・大戸川沿いに平地が開け、また森林も多く琵琶湖の水源涵養、水質保全にも重要な地域となっている。

交流都市

1、川崎市宮前区（神奈川県：平成12年3月27日提携調印）

人口約208,900人（平成18年6月1日現在）、面積18.60km²。

両市区の子どもたちによる交流が縁でお互いの行事に参加し、交流を深めている。

2、和光市（埼玉県）

人口約74,900人（平成18年6月1日現在）、面積11.04km²。

平成5年からスポーツ交流が始まり、平成7年に災害時における相互応援に関する協定書を締結している。和光市で行なわれる農業祭の参加など交流を深めている。

3、宇和島市（愛媛県：平成8年1月8日「津島町・臼田町小さなふるさと大使交流会」事業開始日、平成17年8月1日旧津島町より承継）

人口約91,500人（平成18年5月31日現在）、面積469.47km²。

旧臼田町が町内工業団地に誘致した会社の提唱により、それぞれの場所（「夏の海」・「雪国信州」）を体験し交流を深める願いで始まった。毎年、ウィンタースポーツ、マリンスポーツを交互に小学生が体験し、交流を深めている。

4、川副町（佐賀県：平成10年5月20日「博愛の縁」合意日）

人口約18,400人（平成18年6月1日現在）、面積46.5km²。

五稜郭を築城した龍岡藩藩主松平乗謨公と共に「博愛社」を創設した佐野常民の出身が川副町であったことから交流が始まる。

5、サク市（エストニア共和国）

人口約7,300人（2004年）

ヨーロッパのバルト海に面するバルト3国の1国であるエストニア共和国に“SAKU”という市があることから平成11年より交流が始まる。平成17年2月には、スペシャルオリンピックス長野大会に参加のエストニア選手団を、佐久市民がホームステイなどで受け入れた。